

立花高等学校通信 ~ゆっくり・のんびり・まったり~	第12号 令和8年6月18日 文責 校長
---------------------------	----------------------------

パイルアップ

最初から

校長室の窓を開けていると、一日に数回眼下の鹿児島本線を走る電車の音が聞こえてくることがあります。ガタガタとレールの上を走る音はとても重厚なのに軽やかな不思議な趣があります。この原稿を書いている今まさにその音が響いています。

ふと気付いたのですが、電車は一日中走っているのです。それなのにその全部が聞こえてくるわけではないのですよね。私の感覚では一日に数回しか聞こえてきていないその音ですが、実際はその何倍何十倍も音は発せられているはずなのです。それなのになぜ全部が聞こえてこないのでしょうか？

まずは風向きがあると思います。音を運んでくる風がこちらに吹いていなければ、音量が大きく変わってしまうでしょう。そもそも窓が閉まっていれば、そこで音は遮断されてしまいます。これらの物理的条件よりも更に大きな原因、それは私自身が他にあれこれと気を取られていてその存在に『気づいていない』のだと思うのです。

つまり、そこに最初からあるものでも、私達の状態とまわりの条件によっては全然気づかないことがたくさん日常生活にはあるのだと思います。逆に見なくてよいもの聞こえなくてよいものに気付いてしまうと、それだけが気になってしまう悪循環も起きてしまうものです。それで外界からの刺激を遮断してしまうと、届いてほしい何かもないものになってしまいかねません。『気づく』って大切だし難しいものなのです。

人の思いやりや優しさも、最初から皆さんも周りにもあるはずなのについついそれに気づくことができません。探しても探しても見つからないものは、実は最初からすぐ近くにあるものなのです。突然聞こえてきた電車の音に、そんなことを考えました。

【来週の予定】

日 曜	学年	1	2	3	4	5	6	7
22 (月)	全学年	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
23 (火)	全学年	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
24 (水)	全学年	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
25 (木)	全学年	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
26 (金)	全学年	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後

※木曜日より2年生職場体験実習スタート

mamas café 来週の日替わりランチ

22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)
しょうが焼き	鶏と茄子おろし煮	オムライス	チキン南蛮	かつ井
胡瓜スタミナ漬	青菜の和え物	からあげ	ポテトサラダ	冷奴
みそ汁	みそ汁	スープ	スープ	みそ汁

(今日のイイね!)



通称『ベタ踏み坂』と呼ばれる島根県の江島大橋に行って参りました。アクセルをベタ踏み（奥まで踏み込む）しないと登れないほどの急な坂道と言うことでこの名前がついています。

一見したら想像以上に急な坂に感じて怖かったのですが、実際にバスで登ってみると意外と『普通』でした。

何事もイメージだけで解釈したらダメですね。左に書いた内容ともちよっぴり似ていますが、自分で実際に感じてみるのが大切だと思いました。